

# 奄美大島・喜界島農業の動き

## ■令和8年4月

### 1 着果数が多いなか、スモモ摘果講習会を開催！

4月14日、大和村の現地果樹園にてスモモ摘果講習会が開催されました。本年は着果数が多い中、生産者24名が参加し、摘果により残す果実を「握りこぶし1個間隔に1個」を目安に、病虫害被害果や果面が接している果実などの除去を指導しました。単価の良い大玉生産のためには、摘果を確実にを行うことを申し合わせました。講習会を実施した果樹園では、カメムシによる被害果が目立っており、参加者からも同様な被害の発生がありましたので、今後の病虫害対策についても説明を行いました。



生産者24名が参加したスモモ講習会



カメムシの被害により摘果されたスモモ果実

### 2 果樹新規就農者が指導農業士からたんかんの剪定を学ぶ

4月15日、指導農業士の果樹園地(奄美市)において、果樹新規就農者、農業研修生等を対象に、たんかん剪定講習会が開催されました。まず、幼木、成木それぞれの樹形の枝張りや作業性、受光体制を考慮した抜枝のポイント等の講話・実演を確認したうえで、各自が準備してきた鋏や鋸を用いて剪定を行いました。今作は着花数が少ない状況の中、剪定による品質向上や次年度以降を見据えた樹形改善に向けた剪定について実際の作業を行ったことから、理解が深まったものと思われました。



たんかん剪定講習会の様子

### 3 奄美地区生活研究グループ連絡協議会研修会が開催される！

4月17日、大和村防災センターで奄美地区生活研究グループ連絡協議会の研修会が開催され、合同会社ひらとみ加工部・まほろば大和生活研究グループの方が講師となり、「食文化の継承～学ぼう・伝えよう講座～」をテーマに大和中学校との取組事例を紹介されました。講演会后、会員は郷土の食を継承するための取組や現在グループが抱える悩みなどについて意見交換を行いました。子ども達やその親世代に奄美の食文化を継承する大切さを再認識し、今後の活動をより活発にしていこうことを申し合わせました。



研修会での意見交換の様子